

2017年12月

【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表

事業所名

スタジオplus+市川駅前教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	賃貸物件のためバリアフリーのリフォームが難しいところがありますが、入口から指導訓練室への導線は見通しが良くなるようにスッキリさせるようにしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月職員の振り返りを実施し、職員のアイデアから改善しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等向け評価表だけでなく、学期毎に満足度アンケートを実施しており、いただいたご意見をもとに業務改善をはかっています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月に2回、臨床心理士の先生を外部からお招きし、スーパーバイズを受けることによって、個別支援計画やアセスメントの質の向上に努めています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		ひらがな読み書き練習セットをアセスメントツールとして活用することで、読み書きが苦手な子どもたちに対して、ことばの練習やひらがなの練習を行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	長期休暇では学校の宿題や作文など利用者や保護者のニーズを汲み取りながら支援するようにしています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	打ち合わせの場だけでなく、支援や保護者対応など気づいた点に関して、職員間で話し合い次のアクションに移せるようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			手立てと工夫、その結果どうだったかを残すことで、蓄積した情報をもとに振り返りができるようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか			○		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			○	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要に応じて近隣の若者サポートステーションと連携を図ることで、切れ目ない支援が行えるようになっています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時は契約内容のご説明を丁寧に行い、利用者や保護者のニーズを踏まえて個別支援計画を作成し、保護者の同意を得た上で支援を開始するようになっています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			対面はもちろん、お電話やメールや定期的なアンケート調査によって、保護者の皆様の困りごとを聴き取るようになっています。また情報を蓄積し、他事業所とも連携を図りながら、必要な支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会は年に2回実施しており、保護者同士のつながりが持てるようになっています。できるだけ多くの保護者の方々が参加できるよう、開催回数やイベント内容などの工夫を今後していきたいと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			モニタリングのタイミングに合わせて教室通信を発行し、教室の取り組みや緊急時の連絡対応などのご説明をし、配布しております。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お知らせに関しては、口頭文書とメールを組み合わせを行い、スムーズかつ丁寧な情報伝達を心がけていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		感染症対応マニュアルは周知できていますが、防犯マニュアルは未策定のため、整備していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		プログラム参加にあたって保護者にアレルギーと初期対応の聴取を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し、指示書に基づく対応がされているか	○			ヒヤリハットの記録と事業所(法人)内での共有はできています。